

県立日立第一高等学校附属中学校【総合的な学習の時間計画】（令和8年度）

学校の教育目標

高い志を持ち、優れた資質と豊かな人間性を備え、社会の発展に貢献する人材を育成する。

総合的な学習の時間の評価

目標と育成する資質・能力	学習評価	配慮を必要とする生徒への支援方法
<p>1 学年</p> <ul style="list-style-type: none"> 自主的な学習習慣を身に付けさせ、基礎学力の確実な定着を図るとともに、将来への夢をもたせる。 自然科学に対する興味関心を高めるとともに、国際性豊かな人材の育成に努める。 <p>2 学年</p> <ul style="list-style-type: none"> 自主的・計画的な学習環境づくりの支援を通して、学力の向上を図るとともに、将来の夢や生き方について考えさせる。 自然科学に対する興味関心を高めるとともに、国際性豊かな人材の育成に努める。併せて表現力の向上を図る。 <p>3 学年</p> <ul style="list-style-type: none"> 自主的、計画的、発展的な学習活動の支援を通して、学力の深化と向上を図るとともに、将来の夢や生き方について具体的に考えさせる。 自然科学に対する興味関心をより一層高めるとともに、国際性豊かな人材の育成に努める。 	<p>全学年共通</p> <p>3つの観点（課題設定の能力、情報活用能力、コミュニケーション能力）をもとに、身に付いた力を文章で表現し、通知票で本人・保護者に示す。</p>	<ol style="list-style-type: none"> コミュニケーション、感情コントロール、認知機能、身体的不器用さ、情報の整理等に困り感をもつ生徒の情報を収集し、配慮を要する生徒の支援目標を教員間で共有する 体験活動やグループ活動等の場面では、個に応じた役割や課題の設定ができるようにする 生徒全員が自分の感性を受け入れ、長所を伸ばし、互いに違いを認め合える学級集団を育む

各学年における主な取組内容

学年	主たる探究課題及び学習活動	外部との連携	育成を目指す生徒像
1 年	サイエンスリテラシーでは、生徒が研究を進める上で必要となる「テーマの見つけ方」「ポスターのまとめ方」などについて、クロームブックを活用して技能を身に付ける。また、生徒が研究課題を設定し、調査や実験などを行い、考察し自分たちの考えをまとめ、発表をする。グローバルコミュニケーションでは、身近な題材でスピーチしたり、ディベート活動をしたりして、表現力を高める。キャリア教育では、社会人を外部講師として招き、様々な職種に関する講話を聞く。	<p>全学年共通</p> <p>総合的な学習の時間については、教頭、教務部、進路支援部、サイエンス部、1 学年、2 学年、3 学年が連携して、3 年</p>	<p>サイエンスリテラシー</p> <ol style="list-style-type: none"> 科学する心を育てる。 身近な問題から適切に課題を設定し、解決の仮説を立てる能力を育む。 <p>グローバルコミュニケーション</p> <ol style="list-style-type: none"> 伝え合う力やプレゼンテーション能力を育む。コミュニケーション能力の伸長を図る。 <p>キャリア教育</p> <ol style="list-style-type: none"> 望ましい勤労観や職業観を身に付ける。
2 年	サイエンスリテラシーでは、日常生活を振り返って研究課題を見つけ、調査や実験を行い、考察し自分たちの考えをまとめ、発表する。グローバルコミュニケーションでは、語学研修に向けて国際文化を理解するとともに、日本文化などについてプレゼンテーションを作成し、発表する。また、語学宿泊学習では英会話中心の講習を受けて、表現力を高める。キャリア教育では、職業や資格、進路について調べ学習をする。	<p>間の計画立案を行う。外部の機関や講師との連絡は、サイエンス部、進路支援部、各学年の係が協力して行う。</p>	<p>サイエンスリテラシー</p> <ol style="list-style-type: none"> 科学する心を育てる。 複雑な問題から適切に課題を設定し、根拠に基づいた仮説を立て、それを検証するための計画を立案できる能力を育む。 <p>グローバルコミュニケーション</p> <ol style="list-style-type: none"> 伝え合う力やプレゼンテーション能力を育む。 コミュニケーション能力の伸長を図る。 <p>キャリア教育</p> <ol style="list-style-type: none"> 望ましい勤労観や職業観を身に付ける。 自己の進路を決定していける資質・能力を育む。
3 年	サイエンスリテラシーでは、2 学年で研究発表した内容について、調査や実験を追加し、考察して自分たちの考えをまとめ、発表する。グローバルコミュニケーションでは、海外語学研修に向けて事前にテーマを決めて、現地在住の方々にプレゼンテーション、ディスカッションを行い、国際交流を深める。キャリア教育では職場体験を行い、勤労意欲を高める。		<p>サイエンスリテラシー</p> <ol style="list-style-type: none"> 科学する心を育てる。 問題の中から状況を絞り込み課題を設定し、仮説・検証方法を考え、まとめたことを発表し、発信する能力を育む。 <p>グローバルコミュニケーション</p> <ol style="list-style-type: none"> 伝え合う力やプレゼンテーション能力を育む。 コミュニケーション能力の伸長を図る。 <p>キャリア教育</p> <ol style="list-style-type: none"> 望ましい勤労観や職業観を身に付ける。